



受 付

皆様ありがとうございました。

運営にあたって頂きました役員の

て歴史的な一日となりました。

二百名の方が参拝、西福寺にとつ



会 場 風 景

七月七日西福寺創建777年の
記念法要と記念コンサートが、晴
天のもと行われました。本堂は立
ち見が出る程の賑わいでした。

呼 び 声

臨
時
号

西福寺暦

777年

7月31日

記念法要



法要は阿弥陀経を中心とした
作法で行われました



会場の皆様も読経
力強く堂内に響きました



司会

門徒推進委員

加納 五郎



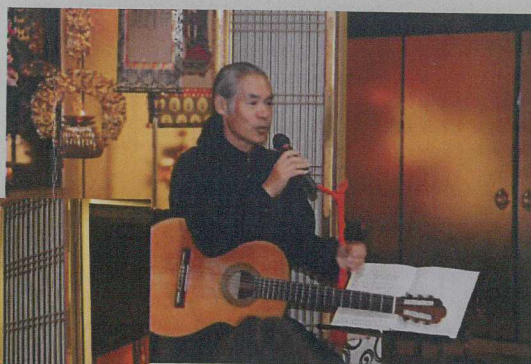
777年に因み7条袷袢を着用し7人で出勤しました



「ふりそそぐ光」「スタンドアローン」「ふるさと」を合唱しました

西福寺混声合唱団

記念コンサート



私は小学生の頃までお寺の近くに住んでおりました。
思い起こしてみると、花まつりの行事には甘茶を欲しさに、西福寺に來た思い出があります。

ですから、
この地は
私にとつ
てのふる
さです。

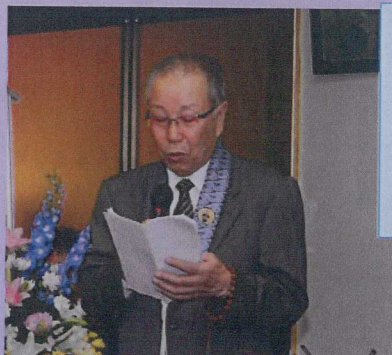
莊村清志さんトーク

演
奏



「アルハンブラの思い出」
など六曲を演奏、
私語も着メロもなく、静か
に聴いて頂きました。
庄村さんも感激されていま
した。

梵鐘 七音色



お礼の言葉

総代会長
加納 淳好

メンバー
一音 総代会表
二音 莊村清志
三音 婦人会長
四音 仏社会長
五音 若院
六音 坊守
七音 住職

最後に
梵鐘七音
撞きました
七夕の空に響きました
(七月七日七時)

7月8日(日)

岐阜新聞

7月7日に創建777年記念法要
西福寺祝うギターの調べ



岐阜市島田西町の西福寺(加納願住職)で7日、創建777年記念法要があった。同寺出身の国際的ギタリスト、約200人の門徒や市民がギター演奏に聞き入った。

荘村さんは9歳でギターを始め、スベインの巨匠ナルシソ・イエベスに師事。小学校卒

築まで寺の近くに住んでおり、「古里の記憶がよみがえってきた。花祭りの時には友人とお寺にお菓子をもらいに行きました」と懐かしんだ。

恩徳園を一緒に演奏する荘村清志さん(左)と加納願住職。岐阜市島田西町、西福寺。

7月14日(金)

分水嶺

岐阜市にある河野西福寺は浄土真宗本願寺派の寺院。親鸞聖人につながるの深い河野門徒の一員で蓮如上人から授けられた宝物を守る河野六坊と呼ばれる寺の一つだ。親鸞聖人に帰依し鎌倉時代に改宗。寺創建から今年で777年になる。初代住職から24代にわたり念仏の教えを伝えてきた。現住職の加納願さんは長い歴史を振り返る中で門徒の支えに感謝するとともに三度の存立の危機を示す。一度は戦国時代にあった石山合戦への門徒有志の参戦。真宗の命運がかかる戦だった。次いで濃尾地震での本堂倒壊。再建に26年を要した。続いて太平洋戦争での住職戦死と岐阜空襲での本堂焼失。駆け付けた住職の親戚がろうじて本尊を持ち出した。そして今、檀家制度の希薄化による寺離れが進む。檀家は家族単位で寺に所属するつながりが、家族の在り方が変わったことで結び付きも弱まった。しかし、仏教は人々が健やかに生きるためにある。加納さんはこれまでとは異なる社会との関わり方を探る。西福寺本堂での記念法要には、幼い頃に寺近くに住んでいたギタリストの荘村清志さんが訪れ、趣のある音色を響かせた。聴き入ったのは門徒と地域の人たち。さまざま「縁をつくり出そうとしている。」

2017 7.14



新聞に載りました

三河の聖徳太子堂で
初代住職春道は親鸞聖人に値われ
天台宗の西福寺を浄土真宗に改宗し
その法脈は今日に継承されております

三河聖徳太子堂
初代春道値聖人
改宗天台念仏門
爾来法脈伝今日
釋迦如來超六道
生誕直立後七歩
七七七年西福暦
遇此勝縁至報恩



釈迦如來は六道を超え
生誕し七歩の後直立されました
この度西福寺暦が七七七年という
すぐ勝れた縁に遇わせたいただきます事誠に報恩の至りです

西福寺 第二十四代住職 釋顯英